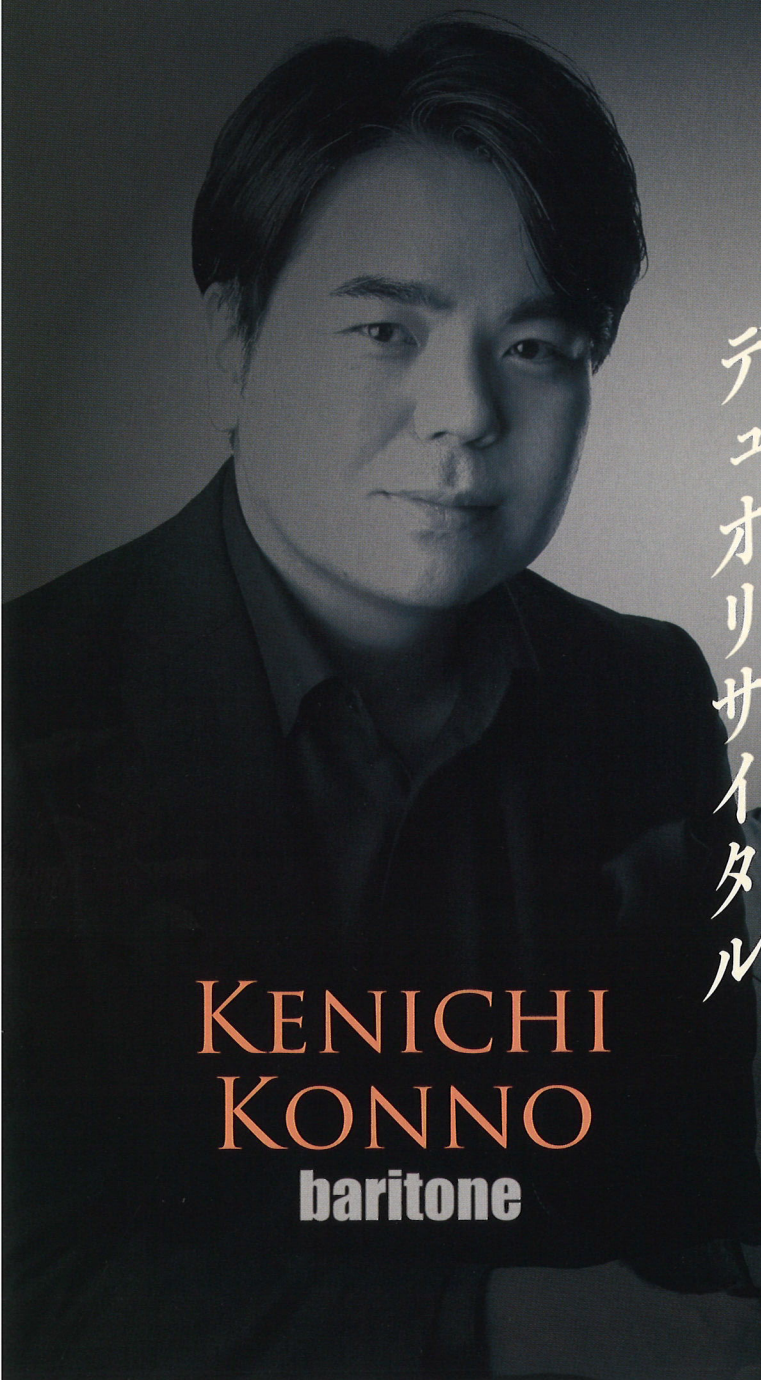
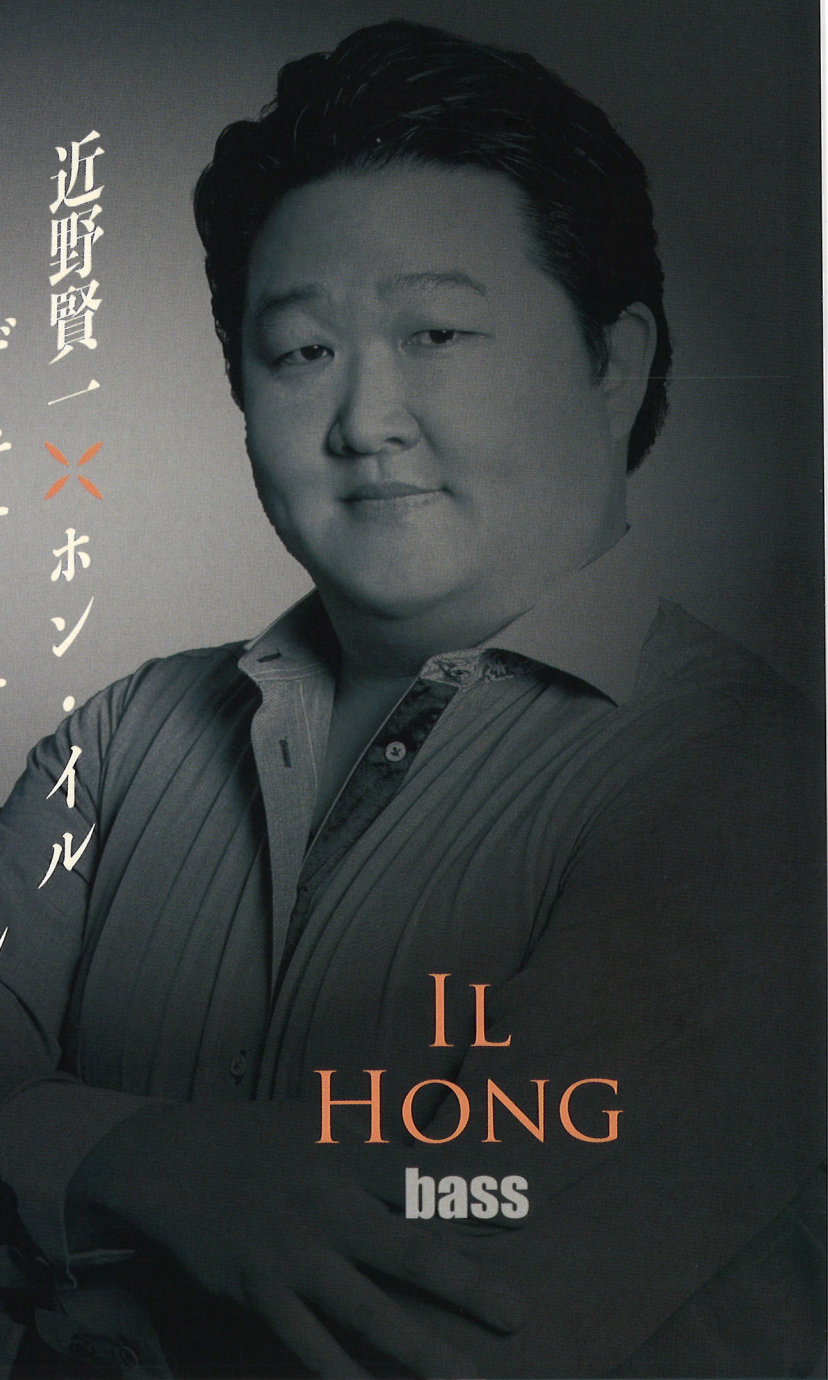


KENICHI KONNO × IL HONG DUO RECITAL



KENICHI
KONNO
baritone

近野賢一 × ホン・イル
デュオリサイタル



IL
HONG
bass

2024 FRI
6/14

開場 18:30 開演 19:00

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

TICKET

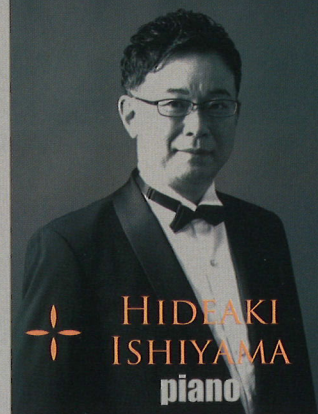
全自由席 一般 4,000 円
学生 2,000 円

SOLO

E. グリーク: 君を愛す
F. リスト: おお愛しなさい 愛しうる限り
W.A. モーツァルト: 《ドン・ジョヴァンニ》より 〈カタログの歌〉
R. ワーグナー: 《タンホイザー》より 〈夕星の歌〉
E.W. コルンゴルト: 《死の都》より 〈私の憧れ 私の幻〉

DUET

V. ベッリーニ: 《清教徒》より 〈ラッパを吹き鳴らせ〉
G. ドニゼッティ: 《ドン・パスクワレ》より 〈静かに 静かに〉
ほか



HIDEAKI
ISHIYAMA
piano

チケットお申込み・お問合せ
konno.lied@gmail.com



《後援》
名古屋音楽大学

KENICHI KONNO × IL HONG DUO RECITAL



KENICHI
KONNO
baritone

近野 賢一

バリトン

北海道出身。新潟大学教育学部を経て、京都市立芸術大学大学院修了。大学院修了の翌年に行ったりリサイタルが青山音楽賞新人賞に選ばれ、青山音楽財団より海外研修助成を受けて渡独。フライブルク音楽大学リート・オラトリオ科及びオペラ科を修了。ミュンヘン音楽演劇大学大学院リート科を修了後、2012年に帰国。

ドイツ歌曲をライフワークとして、国内外にて意欲的にリサイタルを行っている。名古屋においては2016年「オール・シューマンリサイタル〜美しい五月に〜」、2019年「オール・マーラーリサイタル〜世に忘れられ〜」を行い、いずれも好評を博した。2022年の「冬の旅」リサイタルに対して、名古屋市民芸術祭賞を受賞。

コンサートソリストとしてはベートーヴェンの「第九」、バッハ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「ロ短調ミサ」や、ヘンデル「メサイア」、「レクイエム」(モーツァルト、ブラームス、フォーレ)等のソリストとして多数出演。

またオペラではサラマンカホール・オペラ「サンドリヨン」(パンドルフ)、「魔笛」(パパゲーノ)への出演や名古屋二期会公演「カルメン」(エスカミーリョ)をはじめとして、「フィガロの結婚」(伯爵)、「ディドとエネアス」(エネアス)、「ランスへの旅」(ドン・プロフォンド)、「ペレアスとメリザンド」(ゴロー)などに出演。

2018年1stCD『美しい五月に〜シューマン歌曲集』を、2022年には2ndCD『冬の旅』をリリース。いずれもレコード芸術誌で推薦盤に選出されるなど、各誌で絶賛されている。現在、岐阜大学准教授、名古屋音楽大学非常勤講師。日本ドイツリート協会会員。



IL
HONG
bass

ホン イル
(洪 一)

バス



韓国ソウル出身。延世大学音楽学部声楽科を実技首席で卒業。卒業後に渡独。フライブルグ音楽大学にて研鑽を積み、2011年に最高点、首席で卒業。

在学中の2009年にミュンヘンのバイエルン国立歌劇場オペラ研修所に合格し、同年、同劇場でヨーロッパでのオペラデビューを果たす。

またドルトムント・クラングヴォーカル音楽祭に招かれ、エディタ・グルベローヴァと共演し、「ルクレティア・ボルジア」(ドニゼッティ)のアルバム製作にも参加する。

2010年にはデトモルト州立歌劇場のソリストとして、「ラインの黄金」(ワーグナー)のファゾルト、「フィガロの結婚」(モーツァルト)のバルトロ、「魔笛」(モーツァルト)のザラストロとして活躍。

また、同年参加したイタリアでの第49回「ヴェルディの声国際コンクール」にて第2位を獲得。このコンクールを聴きに来ていた3大テナーのプロデューサー、マリオ・ドラーディに認められ、彼のプロデュースによるミラノの大聖堂でのイタリア統一150周年記念公演「十字軍のロンバルディア人」(ヴェルディ)に参加。

2011年から2017年までウィーン国立歌劇場の専属ソリスト歌手として数多くのオペラに出演。

退団後はミュンヘン放送交響楽団とロッシーニのオペラ「シジスモン」のレコード録音に参加の他、スウェーデンの夏の音楽祭「オペラ・スカレット」における「愛の妙薬」に出演。現在、ウィーンを拠点に活動している。

HIDEAKI
ISHIYAMA
piano



石山 英明 ピアノ

オーケストラを彷彿とさせる繊細かつダイナミックな表現と、幅広いレパートリーを誇るピアニスト。国立ベルリン芸術大学ピアノ科に学び、在学中より演奏活動始める。世界的な指導者であったジョルジュ・シェベック氏のマスタークラス、ベルリン・フィルのコンサートマスターであったトーマス・ブランディス氏、同楽団の首席奏者であったヴォルフガング・ベッチャー氏らの室内楽のレッスンを受講する。帰国後も各種演奏会に出演し、近年ではオペラ、歌曲の伴奏者として内外の歌手との共演も多く、オペラ公演のコレペティトゥールとしても数々の公演を成功に導いている。また、音楽指導の分野では、子どもから大人までのピアノ・ソルフェージュ・歌唱指導・合唱指導などに幅広く力を注いでいる。内藤忠勝、荒憲一、クラウス・ヘルヴィッツの各氏に師事。現在、桜花学園大学教授。

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

名古屋市中区栄2-2-5 (052) 204-1133
東山線・鶴舞線「伏見」駅④番出口より東へ徒歩2分